

取扱説明書

P型2級受信機 内器

NBP235AKA0□(□は回線数)

- このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

取り扱いについてのご注意

- 平常時には次のことを守ってください。受信機の取り扱いを誤ると火災時に正しく動作せず、避難や消火活動が大幅に遅れるおそれがあります。
- ベル(地区音響)一時停止スイッチを押さない。
- 受信機を地区音響強制停止・音響強制停止状態にしない。
- 電源スイッチや電池を切らない。
- 正常な監視状態にあるか確認する。(平常時の受信機の状態を参照)
- 警報が鳴った、まず現場を確認してください。

火災の場合	●119番などに通報する。 ●避難誘導および、可能であれば初期消火をする。
火災でない場合	●発生原因がわかれれば取り除く。 ●発生原因不明のときは点検契約店に連絡し、再発防止を施す。

ご使用の前に

- この設備は、火災感知器などからの信号を受けて火災の発生を報知する働きをします。したがって、この設備は消火を行うものではありません。万一の火災などによる損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- この設備は皆様の生命・財産を火災から守るための大切な設備です。取扱説明書をよく読み、各機器の正しい取り扱いを理解して、緊急時に備えてください。
- この設備は、常に正常な状態を維持するよう、有資格者による定期点検を行ってください。
(定期点検は、施主様と施工店または点検契約店でご契約ください。)

安全上のご注意

必ずお守りください

警告



機器を分解したり、修理・改造しない。
故障の原因となります。

保守・点検以外でベル(地区音響)一時停止スイッチを押さない。
(スイッチ内のランプ・スイッチ注意灯が点滅状態)
火災時、すぐに警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

防火管理者および消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れない。
感電・故障の原因となります。



ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけない。
感電・故障の原因となります。

感知器は絶対に取りはずさない。
出火時に火災発見ができません。

点検用スイッチカバー内にあるスイッチは操作しない。
(点検資格者、消防設備士が操作するところです。)

注意



受信機のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認する。
正常な監視状態でないとき火災時に正しく動作しません。

点検用スイッチカバーは必ず閉じる。
引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。

施工説明書別添付 保管用 屋内専用

ご使用になる皆様へ

品番 NBP235AKA0□ (□は回線数)

こんなときは

- 下記のような場合、消防法に適合しなくなったり、この設備が正常に機能しなくなるおそれがありますので、定期点検の時期まで待たずに、点検契約店にご連絡ください。

増 改 築	修 繕	塗 り か え
●増築や改築をしたとき	●建物や屋根をしたとき	●天井や壁を塗りかえたとき
●設備の工事をしたとき	●電気・ガス・水道工事をしたとき	●台風・雷・地震などの被害を受けたとき
●点検の結果は維持台帳に記録し、定められた期間ごとに消防長または消防署長に報告しなければなりません。		

お手入れ方法

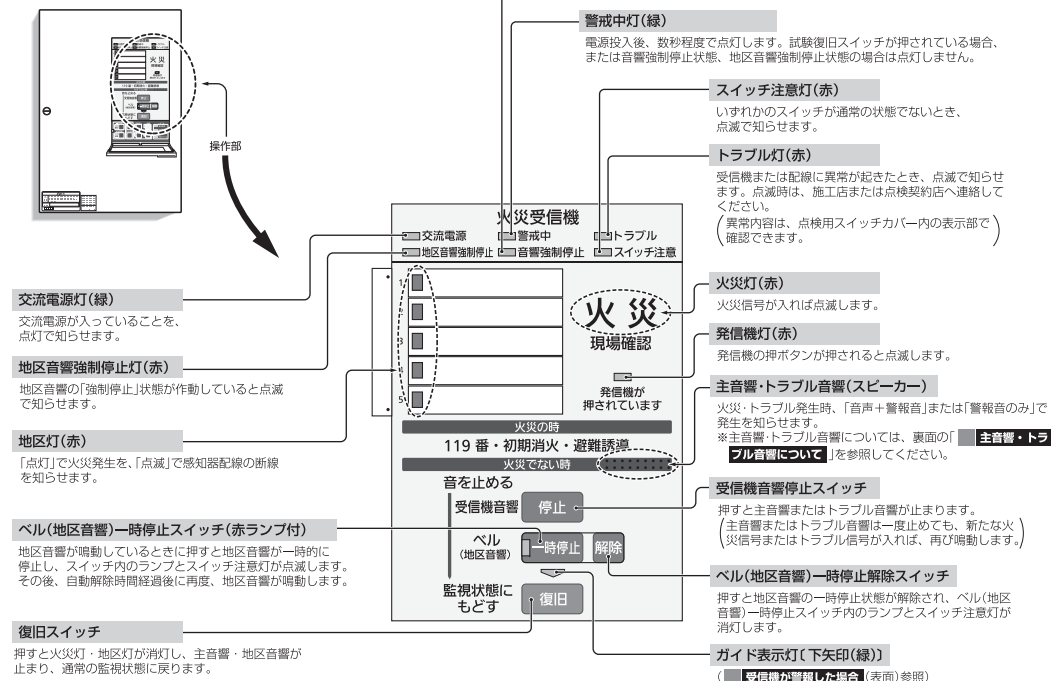
- 表面が汚れた場合は、次の方法でお手入れください。
- ふだんのおそうじは、やわらかい布でふき取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください。



ベンジンなどは引火性があるため危険ですので、使用しないでください。

各部のなまえとはたらき

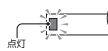
- 点検用スイッチカバーを開けた状態



受信機が警報した場合

- 主音響が鳴ったら、次の手順で操作してください。

- 1 地区灯(赤)の点灯位置によってどこで火災が起きているか確かめる。



- 発信機の押ボタンが押されて発報している場合は、発信機灯が点滅します。押ボタンを元に戻すと消灯します。
- 発信機灯が消灯している場合は、感知器が作動したことによる発報です。

- 2 受信機音響停止スイッチを押し、主音響を止める。(地区音響は鳴動しています。)



- 3 出火場所へ行き状況を確認する。

火災の場合

- 4 119番に通報する。その後、可能であれば避難誘導や初期消火など適切な処置をする。

- 5 火災鎮火後、復旧スイッチを押して通常の監視状態に戻す。

(平常時の受信機の状態(表面)を参照)



火災でない場合

- 4 ベル(地区音響)一時停止スイッチを押して、地区音響を止める。

- スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が点滅し、ガイド表示灯が点灯しています。
- 発信機灯が点滅している場合は、ガイド表示灯が点灯します。



- スイッチ内のランプとスイッチ注意灯およびガイド表示灯は、自動解除時間(TA)(約2分間・約4分間・約6分間・約8分間)経過後に消灯し、地区音響が再び鳴動します。
- 自動解除時間(TA)は、約2分間・約4分間・約6分間・約8分間で設定することができます。現在、設定されている時間を確認する場合、または設定時間を変更する場合は、施工店・点検契約店にご相談してください。

- 5 地区灯の点灯している警戒場所で、次の状況を確認め処置する。



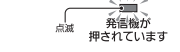
- 感知器が作動していないか?
- ガイド表示灯は点灯しています。
- 確認灯が感知器の場合、作動した感知器の確認灯が点灯します。

処置: 作動した感知器から煙または熱を取り去る。



- 煙感知器の場合、水蒸気・ホコリ・調理の煙などでも作動することがあります。
- 熱感知器の場合、ストーブなど暖房の熱が直接当たったり、感熱部が変化すると作動することもあります。

- 発信機灯が点滅し、ガイド表示灯は消灯しています。



処置: 発信機の押ボタンを元に戻す。



消灯

異常時の点検・処置

警告



この設備に異常があるときは以下の点検・処置をしてください。
異常を放置すると火災時に警報が出ないため避難・消火活動が
大幅に遅れる危険があります。

●以下の異常状態のときは、取り扱いされる方が点検・処置をしてください。
正常に戻らなかった場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。

状 態	点 検	処 置
交流電源灯が消灯している。	自動火災報知設備専用ブレーカーが「切」(OFF)側になっていないか？	専用ブレーカーを「入(ON)」側にする。
警戒中灯が消灯し、操作部のすべての表示灯が点灯している。	煙感知器の近くに調理の煙・水蒸気・ホコリなどが滞留していないか？ 熱感知器の近くにストーブなど暖房の熱が直接当たっていないか？ 発信機の押ボタンが押されたままになっていないか？ どこにも火事や煙の発生がないことを十分確認したか？	煙：水蒸気などを取り除き、復旧スイッチを押す。 熱：熱などを取り除き、復旧スイッチを押す。 発信機：押ボタンを元に戻し、復旧スイッチを押す。 地区音響を再鳴動せたくない場合は、地区音響強制停止にする。(施工店・点検契約店に連絡する。)
スイッチ注意灯が点滅している。	●スイッチ注意灯・地区音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯し、約1分間隔でビープ音が鳴ります。 この状態のままだでは、正常に警報動作を行うことができません。必ず施工店または点検契約店に連絡してください。	●ベル(地区音響)一時停止解除スイッチを押す。 ●ベル(地区音響)一時停止スイッチの赤色ランプが点滅していない場合は、施工店または点検契約店に連絡する。

●以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

※印はトラブル音響鳴動設定を「使用」側に設定してある場合、音が鳴ります。
(施工説明書を参照してください。)

状 態	点 検	処 置
交流電源灯が消灯している。または、警戒中灯以外の操作部ランプが点灯している。	受信機内の交流電源スイッチが「入」側になっていないか？ 電源一次ヒューズ(F1・F2)が切れていないか？ AC100V配線が断線していないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入」側にする。 ヒューズ(F1・F2)を交換する。 配線を直す。
警戒中灯が消灯している。	音響強制停止灯(赤)が点滅していないか？ 試験復旧灯(赤)が点滅していないか？ 地区音響強制停止灯(赤)が点滅していないか？	音響強制停止状態を解除する。 試験復旧スイッチを押す。 地区音響強制停止状態を解除する。
火災でないのに警報動作している。	感知器配線が短絡または絶縁劣化していないか？ 火災以外の原因はないか？	配線を直す、感知器を確認する。 日常点検をする。
※トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の回路異常灯が点灯している。	受信機内の電池が接続されているか？ 電池ヒューズ(F3)が切れていないか？	受信機内の電池を接続する。 ヒューズ(F3)を交換する。
※トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の電池異常灯が点滅している。	電池試験を行い、電池試験結果が「良」となるか？	新しい電池と交換して、再度、電池試験を行い、トラブル灯と電池異常灯が消灯することを確認してください。
※トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の回路異常灯が点滅している。	一斉試験を行い、火災表示試験項目で全回線点灯するか？ または、火災試験を行い全回線正常に火災状態になるか？	受信機内部の火災受信回路が故障です。 当社へお問い合わせください。
※トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の回路異常灯が点灯している。	感知器配線が断線していないか？	配線を直す。
	感知器の配線に終端抵抗器が接続されているか？	終端抵抗器を接続する。

●以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

※印はトラブル音響鳴動設定を「使用」側に設定してある場合、音が鳴ります。
(施工説明書を参照してください。)

状 態	点 検	処 置
※トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の回路異常灯が点灯している。	指定以外の終端抵抗器が接続されていないか？ 使用していない回路のあき回路設定がしてあるか？	指定の終端抵抗器と交換する。 あき回路設定スイッチを「あき(不使用)」側に設定する。
※トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のヒューズ断線灯が点灯している。	地区音響ヒューズ(FB)が切れていないか？ 副受信機ヒューズ(F1)が切れていないか？ 表示灯ヒューズ(FU)が切れていないか？	ヒューズ(FB)を交換する。 ヒューズ(F1)を交換する。 ヒューズ(FU)を交換する。
※トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の外部トラブル灯が点灯している。	トラブル入力端子(TBI-U)間の接続機器が出力していないか？	配線を直す。 接続機器を確認する。
※交流電源灯が消灯し、スイッチを押す。	受信機内の交流電源スイッチが「切」側の状態で電池の電圧が低下していないか？ 副受信機電源(1+・1-)が20.4V以上あるか？ 停電などにより交流電源が切れていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入」側にする。 受信機内部の電源回路が故障です。 当社へお問い合わせください。 停電状態が復元するまで待つ。
※トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル詳細灯がすべて消灯している。	一斉試験を行い、ソフト設定確認項目でガイド表示灯(下矢印)が点滅していないか？	登録データ異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
火災警報状態で復旧スイッチを押しても復旧しない。	感知器または発信機が作動状態になっていないか？ 感知器配線が短絡していないか？ 発信機灯が点滅していないか？	●感知器から熱または煙を取り除く。 ●発信機の押ボタンを元に戻す。 配線を直す。 発信機の押ボタンを元に戻す。
操作表示部の警戒中灯以外のすべてのランプが点灯している。	副受信機電源(1+・1-)が20.4V以上あるか？	受信機内部の電源回路が故障です。 当社へお問い合わせください。

主音響・トラブル音響について

受信機の状態	警報音	音声メッセージ
火災警報(第1報)	ピーピー	火災感知器が作動しました。現場を確認してください。(女性の声)
火災警報(第2報または発信機発報)	ピーピー	火事です。火事です。現場を確認してください。(男性の声)
トラブル	ピーー	トラブルが発生しました。(女性の声)
※蓄積開始	ビッ	ー

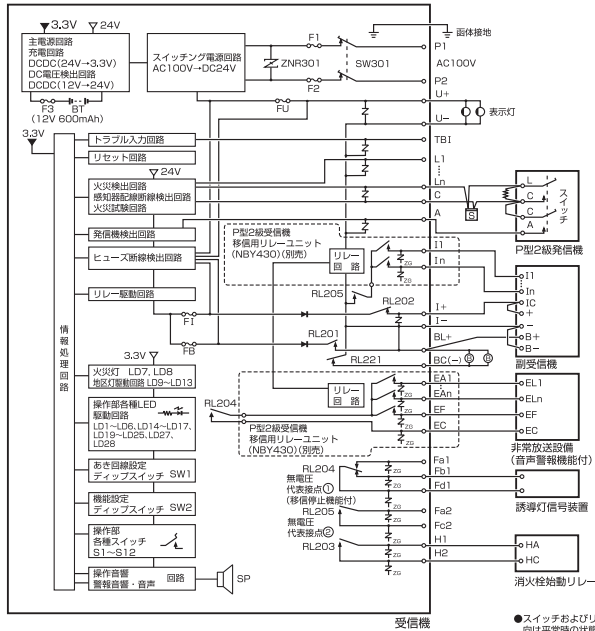
※蓄積開始音響は設定により鳴動させなくすることもできます。

連絡先一覧表

施工店や点検契約店など、記入されておくと便利です。

点検契約店	TEL
施 工 店	TEL
設 備 竣 工	年 月 日

内部回路図



■適用品番 内器：NB23P5AKA□(□は回路数)

記号	名 称	記号	名 称
SW1	あき回路設定デッブスイッチ	LD14	発信機灯
SW2	機能設定デッブスイッチ	LD15	地区音響一時停止灯
SW301	交流電源スイッチ	LD16	ガイド表示灯(下矢印)
F1,F2	電源一次ヒューズ	LD17	電池試験結果灯
F3	電池ヒューズ	LD19	蓄積解除灯
FB	地区音響ヒューズ	LD20	試験復旧灯
F1	副受信機ヒューズ	LD21	点検灯
FU	表示灯ヒューズ	LD22	移信停止灯
SP	主音響・トラブル音響	LD23	電池異常灯
RL1~RL5	回線別移信リレー	LD24	回線異常灯
RL6	非常放送火災確認リレー	LD25	蓄積中灯
RL7	代表移信リレー	LD27	ヒューズ断線灯
RL201	地区音響リレー	LD28	外部トラブル灯
RL202	火災復旧リレー		
RL203	消火栓連動リレー	R424, R425	充電抵抗
RL204	火災代表移信リレー(移信停止機能付)	S1	受信機音響停止スイッチ
RL205	火災代表移信リレー	S2	ベル(地区音響)一時停止スイッチ
RL221	地区音響コモンリレー	S3	ベル(地区音響)一時停止解除スイッチ
BT	電池	S4	復旧スイッチ
ZNR301	サージアブソーバ	S5	一斉試験スイッチ
LD1	交流電源灯	S6	電池試験スイッチ
LD2	警戒中灯	S7	選択スイッチ
LD3	トラブル灯	S8	火災試験スイッチ
LD4	地区音響強制停止灯	S9	蓄積解除スイッチ
LD5	音響強制停止灯	S10	試験復旧スイッチ
LD6	スイッチ注意灯	S11	点検スイッチ
LD7,LD8	火災灯	S12	移信停止スイッチ
LD9~LD13	地区灯		

※ZNR301(サージアブソーバ)は雷サージ対策部品です。

定格・仕様

国家検定型式番号	受第26-30号		
常 用 電 源	AC100V 50/60Hz (P1+P2)	回 線 数	3 5
		消費電力：警戒時最大	9VA
		消費電力：警報時最大	27VA
予 備 電 源	DC 12V 600mAh ニッケルカドミウム蓄電池(充電方式：トリクル充電 充電電流12.8mA)(受託評価適合品)		
地 区 音 響 装 置	3回線：DC 24V 120mA (BL+・BC(-)) 5回線：DC 24V 200mA (BL+・BC(-))		
非 常 放 送 運 動	無電圧接点(EC・EA1・EA2,EF) 接点容量DC 30V 1Aまで ※非常放送運動を行う場合は、P型2級受信機移信用リレーユニット(別売)が必要で、EC-EF接点が開閉するのは、発信機発報および感知器発報2回線以上の場合です。		
表 示 灯	DC 24V 180mA (U+・U-)		
副 受 信 機 電 源	DC 24V 150mA (1+・1-)		
感知器電圧・電流	DC 24V 短絡電流27mA 外部配線抵抗 往復50Ω以下(C-L1...Ln)		
終 端 抵 抗 器	10kΩ (5.1kΩの対応も可能)		
感 知 器 接 続 数	※熱感知器(電子式自己保持型)：1回線当たり80コまで ※熱感知器(NSS220)：1回線当たり30コまで ※光電式分離型感知器(突感知器)：1回線当たり1セットまで ※当社にお問い合わせください ●上記感知器が混在する場合は、下記の方程式により接続数を決めてください。 $A + \frac{B}{3} + 80 + C \leq 80$ ●光電式分離型感知器と他の感知器との混在接続はできません。		

主 音 響 装 置	警報音(断続音)+音声メッセージ 26mA・85dB/m以上
副 受 信 機	DC 24V 200mA/回線(C-L1...Ln) ※副受信機と接続する場合は、P型2級受信機移信用リレーユニット(別売)が必要です。
消 火 栓 始 動	無電圧接点(H1-H2)接点容量DC 30V 1Aまで 無電圧接点2系列(Fd1・Fa1・Fb1(移信停止機能付))(Fc2-Fa2)
移 信 接 点	接点容量DC 30V 1Aまで 移信用リレーユニット(別売)にて4系列追加できます。 ●Fan=Fan移信停止機能付 DC 30V 1Aまで ●火災代表移信とトラブル代表移信をジャンパー設定にて切替可能
ト ラ ブ ル 入 力	無電圧入力(TBI-U)DC24V短絡電流5mA
蓄 積 時 間	公称蓄積時間60秒(煙感知器…60秒 熱感知器…10秒)
使 用 周 囲 温 度	0℃～+40℃
通 合 ボ ッ ク ス	露出ボックス(NBY428EJ)・埋込ボックス(NBY407FJ)
質 量	約2.1kg
主 要 部 品 材 質	鋼板(厚t=1.0) 5ツツヤ有 メラミン塗装

点検のしかた (表面からのつづき)

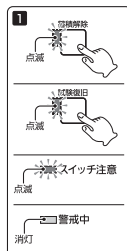
差動式分布型感知器(空気管式)の 作動継続時間の測定方法

地区音響鳴動による測定(簡易測定方法)

- 以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けてください。

1 蓄積解除スイッチと 試験復旧スイッチを 押し、試験復旧状態 にする。

- 蓄積解除灯、試験復旧灯、スイッチ注意灯が点滅します。
- 警成中灯が消灯します。



2 地区音響強制停止灯が 消灯していることを 確認する。



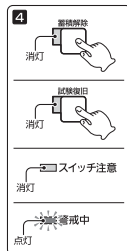
3 差動式分布型感知器の試験孔に空気注入 試験器で規定の空気を入力する。

- このときの地区音響鳴動開始から終了の時間を測定してください。ただし、測定中に自動復旧するため断続鳴動となります。
- (例) 断続鳴動回数が5回の場合
7.5秒×5回＝37.5秒程度となります。

- 継続時間の範囲をはずれる場合は、「テスターによる測定」で再度、測定してください。

4 試験終了後、蓄積解除スイッチと試験復 旧スイッチを再度、押す。

- 蓄積解除灯、試験復旧灯、スイッチ注意灯が点滅し、警成中灯が点灯し平常時の監視状態に戻ります。



試験中に火災を受信した場合

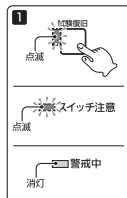
試験中の回線が火災を受信した場合、24の操作のあとに火災警報します。

感知器・発信機の作動回線の確認方法

- 以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けてください。

1 試験復旧スイッチを 押す。

- 試験復旧灯、スイッチ注意灯が点滅します。
- 警成中灯が点灯します。



2 受信機音響を強制停止 する

点検スイッチを3秒以上押している間に受信機音響停止スイッチを押す。

- 音響強制停止灯が点滅します。



3 地区音響を強制停止す る

点検スイッチを3秒以上押している間にベル(地区音響)一時停止スイッチを押す。

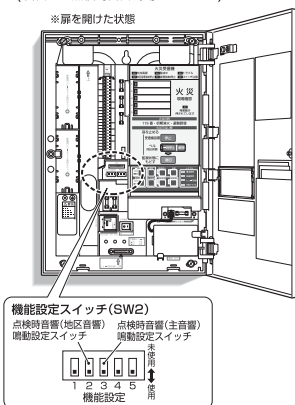
- 地区音響強制停止灯が点滅します。
- 約1分間鳴でビープ音が鳴ります。



4 受信機内の機能設定スイッチの点検時音響 (主音響・地区音響)鳴動設定スイッチを 「使用」側にする。

{ 出荷時は「未使用」側に主音響・地区音響とも点検時音響鳴動なし。 }

※扉を開けた状態



5 作動試験したい感知器・発信機を 動作させる。

- 受信機が警報動作したときの主音響・地区音響の鳴動回数は、試験している回線の番号分になります。
- (例) 受信機の3回線が警報したとき
主音響・地区音響が3回出力されます。
- 受信機音響、地区音響が強制停止状態でも点検時音響(主音響、地区音響)が出力されます。
- 点検時音響(主音響)鳴動設定スイッチが「使用」側であっても、音響強制停止灯が点灯している場合は、主音響が約6秒間動作します。
- 点検時音響(地区音響)鳴動設定スイッチが「使用」側であっても地区音響強制停止灯が点灯している場合は、地区音響が約6秒間動作します。
- 複数の回線が警報したときは、先に警報信号を受信した回線の点検時音響が出力されます。

6 地区音響強制停止を解 除する

点検スイッチを3秒以上押している間にベル(地区音響)一時停止解除スイッチを押す。

- 地区音響強制停止灯が消灯します。



7 受信機音響強制停止を 解除する

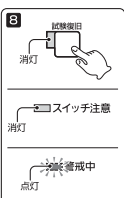
点検スイッチを3秒以上押している間に受信機音響停止スイッチを押す。

- 音響強制停止灯が消灯します。



8 試験終了後、試験復 旧スイッチを再度、 押す。

- 試験復旧灯、スイッチ注意灯が点灯し、警成中灯が点灯し平常時の監視状態に戻ります。



試験中に火災を受信した場合

試験中の回線が火災を受信した場合、8の操作のあとに火災警報します。

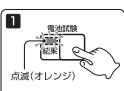
電池試験と電池の電圧測定方法

電池試験

- 以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けてください。

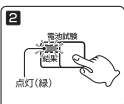
1 電池試験スイッチを 押す。

- 電池試験結果灯が約5秒間、オレンジ点滅します。



2 試験結果が、「良」の 場合は電池試験結果 灯が緑点灯、「不良」 の場合は赤色点灯す る。

- 「不良」の場合、電池交換をしてください。
- (「受信機の電池交換」を参照)

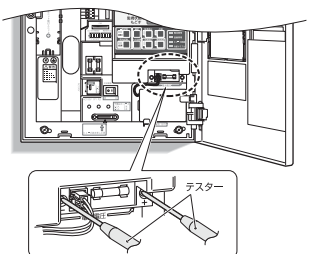


電圧測定

- 以下の試験は、扉を開けてください。

1 電池試験スイッチを押し、オレンジ点滅 している間に、本体内の電池電圧の端子 にテスターを当てて測定する。

- 極性を間違えないよう、ご注意ください。



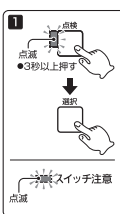
発報履歴の確認方法

- この操作は、受信機の過去の動作内容を確認するための操作です。

- 以下の操作は、点検用スイッチカバーを開けてください。

1 点検スイッチを3秒 以上押している間に 選択スイッチを押す。

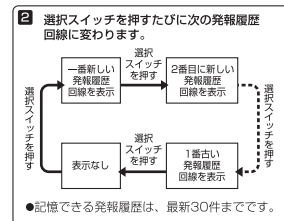
- 発報履歴確認モードになります。
- スイッチ注意灯が点滅します。



2 発報履歴回線を新し いものから表示しま す。

- 選択した地区灯が点灯します。

- 発信機が発報した場合、発信機灯も点灯します。ただし、複数の回線が同時に発報した場合は、正しく発信機灯が点灯しない場合があります。



- 記憶できる発報履歴は、最新30件までです。

3 約10秒以上、操作しないと平常時の 監視状態に戻る。

- スイッチ注意灯が消灯します。

発報履歴を消去したい場合

- 発報履歴回線を表示中に点検スイッチを3秒以上押している間に火災試験スイッチを3秒以上押してください。

受信機のヒューズの交換

警告

ヒューズ交換は電源(AC100V)を切り、電池を取りはずした状態で行ってください。感電のおそれがあります。

ヒューズは必ず指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用した場合、発火・故障の原因となります。

- 予備ヒューズは、電流量違いがありますので必ず指定のものを使用してください。
- ヒューズ交換時は、となりのヒューズ金具と接触させないでください。

取りはずす場合

- 1 ヒューズにヒューズ抜き差し工具を挿入する。

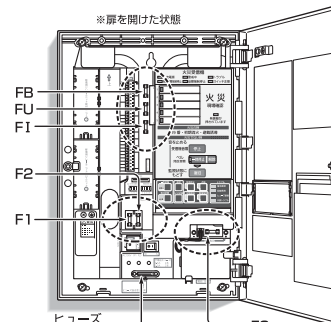
- 2 ヒューズ抜き差し工具をつまみ、引っ張る。



取り付ける場合

- 1 ヒューズ抜き差し工具にヒューズを挿入する。

- 2 ヒューズ抜き差し工具をつまみ、引っ張る。



記号	ヒューズ容量	用 途
F1	2A	電源一次ヒューズ
F2	2A	電源一次ヒューズ
F3	2A	電池ヒューズ
FB	0.5A	地区音響ヒューズ
F1	0.5A	副受信機ヒューズ
FU	0.5A	表示灯ヒューズ

受信機の電池交換

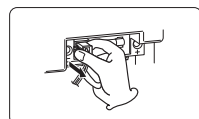
- 電池は、当社受信機専用品(受託評価適合品)をご使用ください。
- (取扱説明書(ご使用になる皆様へ)の「■定格・仕様」を参照)

お願い事項

- 電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済の電池は捨てないで、リサイクルへ協力ください。
- 電池の寿命は約5年です。取り付け日から5年をめやすに交換してください。停電時、正常に機能しない場合があります。

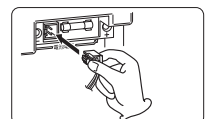
接続コネクタの取りはずし方

- 1 接続コネクタの両端をつまみながらめき、電池を取りはずす。



取り付けの場合

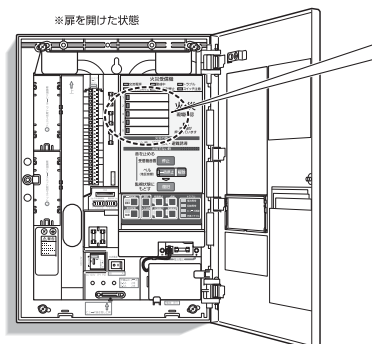
- 1 新しい電池の接続コネクタを差し込み、電池を本体内部に収納する。



受信機の地区ラベルの交換

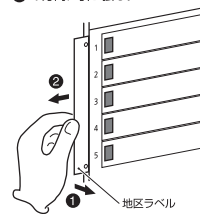
- 1 扉を開ける。
- 2 地区ラベルを取りはずす。
- 3 地区ラベルの枠内に収まるよう名称を記入する。
- 4 地区ラベルを受信機内に挿入する。
- 5 扉を閉める。

※扉を開けた状態



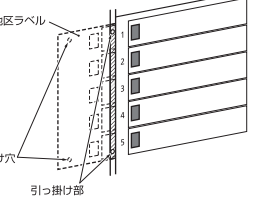
取りはずし方

- 1 の方向に地区ラベルを上へ上げ
- 2 の方向に引っ張る。



取り付けの場合

斜線部に地区ラベルを挿入し、地区ラベルの引っ掛け穴を受信機の引っ掛け部に入れてください。



地区ラベル寸法図

図のように裏面に位置決めのための印がついています。白い紙の上に地区ラベルを置くとき、表から薄く見えますので、ご注意ください。

